

2

February

2026

〈令和8年〉

Vol.791

広
報

さっぽろ

For other
languages



特集

“官”と“民”が共に創る、札幌の未来

街と暮らしをより豊かに

新しい MICE 施設の
整備を目指します

今月のニュース

新しい施設や
交通規制のお知らせ

今月の表紙



札幌駅近くにできた壁画と旧エスタの壁面に現れた文字。どちらも市と企業が連携し実現しました。今回は、市と企業が連携して行うさまざまな取り組みなどを紹介します。

◀ 特集ページはP.2から!

【編集】

札幌市広報課 〒060-8611 中央区北1西2

☎211-2036 📠218-5163

✉kohokakari@city.sapporo.jp

広報さっぽろは、毎月10日までに、町内会などを通じて市内の全世帯に配布しています。詳細は、広報課がお住まいの区の区役所広聴係へお問い合わせください。

特集

- ② “官”と“民”が共に創る、札幌の未来
- ⑧ MICEで街と暮らしをより豊かに
- ⑪ 今月のニュース
- ⑫ 市議会の動き
- ⑭ イベントカタログ
- ⑯ お知らせ

区民のページ

市役所のどこに聞いたらよいか
分からないときは

▶ 札幌市コールセンター

ツージャークルセンター
☎222-4894 8~21時 (年中無休)

FAX 221-4894

✉ info4894@city.sapporo.jp

市政に関するご意見、
ご提案などは

▶ 市民の声を聞く課

☎211-2042

FAX 218-5165

札幌の人口と世帯

国勢調査の実施に伴い、速報値が公表されるまでの間は掲載を見合わせます。

市内の交通事故

令和7年1月1日~12月31日(前年比)
発生 4,312件 (-107)
死者 20人 (+2)
傷者 4,995人 (-184)

急な病気やけがのときは

▶ 救急安心センター 24時間。救急医療の相談、医療機関の案内

☎ #7119 ダイヤル回線、IP電話は ☎272-7119

聴覚に障がいのある方は、FAX 241-7331

▶ 夜間急病センター 中央区大通西19WEST19内

☎641-4316 FAX 615-8604 19時~翌朝7時 (年中無休)

市役所・区役所の連絡先

▶ 市役所 〒060-8611 中央区北1西2

☎211-2111(代表) FAX 218-5163(広報課)

▶ 区役所

		(代表)	(広聴係)
中央区	南3西11	☎231-2400	FAX 231-6539
北区	北24西6	☎757-2400	FAX 757-2401
東区	北11東7	☎741-2400	FAX 742-4762
白石区	南郷通1南	☎861-2400	FAX 860-5236
厚別区	厚別中央1の5	☎895-2400	FAX 895-2403
豊平区	平岸6の10	☎822-2400	FAX 813-3603
清田区	平岡1の1	☎889-2400	FAX 889-2402
南区	真駒内幸町2	☎582-2400	FAX 582-0144
西区	琴似2の7	☎641-2400	FAX 641-2405
手稲区	前田1の11	☎681-2400	FAX 681-6639

※市役所、区役所の開庁時間は

月~金曜(祝・休日、12/29~1/3を除く) 8時45分~17時15分



札幌市役所
ホームページ
広報さっぽろの誌面も掲載。10区全ての区民のページもご覧になれます



ライン
公式LINE



公式X

“官”と“民”が共に創る、札幌の未来

時代とともに地域課題が複雑になる中、行政の力だけではその解決が難しくなっており、企業が持つ知識や技術などの重要性はより高まっています。今回の特集では、行政と企業の連携が行政・企業・市民のそれぞれにもたらすメリットのほか、地域課題の解決に貢献したり、私たちの生活をより良くするための取り組みについて紹介します。

詳細 公民・広域連携推進室 ☎211-2281

“官民連携” って 何だろう？

官民連携とは、行政(官)と民間企業など(民)が連携することを広く指した言葉です。市では「行政が課題の解決方法(事業)を決め、その実施を企業に委託する」といった従来の行政主導の連携に加え、「課題自体を行政と企業が共有し、解決に向けた新たな取り組みを共に創る」などといった、企業の主体的な発想や参画を推進しています。

行政と企業が連携すると、どんな良いことがある？

行政の視点から

悩み

社会情勢を捉えた、課題解決のための効果的な取り組みが生まれにくい。

連携によって

行政だけでは考えつかなかったような企業のアイデアを基に、斬新な取り組みが生まれやすい。

悩み

地域課題が複雑化しており、行政だけの力で解決することが難しい。

連携によって

専門的な知識や経験、幅広い人脈を持つ民間企業の人材にも活躍してもらうことができる。

悩み

法令などの制約により、柔軟な対応や、効率的なサービス提供が難しい。

連携によって

民間の資金やノウハウを取り入れることで、よりコストを抑え、効率的にサービスを提供できる。

行政

企業



企業の視点から

悩み

特にスタートアップ企業など、実績や知名度が不足していて、社会的な信用を築きにくい。

連携によって

「行政と連携した実績のある企業」として、社会的な信用度が上がる。

悩み

企業が社会課題の解決と経済的利益の追求を両立させるという機運が高まっているが、企業単独では取り組める範囲が限られ、収益性のある事業として成立させることが難しい。

連携によって

取り組みの幅が広がり、事業としての成立が期待できる。

市民の視点から

連携によって

- ・市の事業の実施や見直しにおいて、官民連携を一つの選択肢とすることで、市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供が受けられる。
- ・新たな事業や取り組みによって、雇用の増加や地域活性化につながる。

街ににぎわいを!

話題のアレも“官民連携”!

詳細 都心まちづくり課 ☎211-2692



国内最大級! 北5西1の壁画アート

札幌駅近く(中央区北5西1)に誕生した巨大壁画。北海道の豊かな四季の移り変わりの中で生きる、キタキツネやエゾリス、シマエナガなどが描かれています。制作に至るまでの経緯などを、制作した企業の方と市職員に聞きました。



ジャパン プロジェクト やまだまさふみ
JAPAN AX PROJECT(株) 山田真史さん × 札幌市都心まちづくり課 もり 森職員

山田さん 仮囲いを見ながら、壁画が街のにぎわいを生み出せるのではないかと思います提案しました。実は都心でこれほど大きな壁画を掲示しているのは、全国でも非常にまれなんです。多くの規制がある中で完成させられたのは、市が「同じ方向を向く仲間」として、柔軟に対応してくれたからだと思っています。市民の皆さんのほか、全国のアーティストからも好評です。この壁画が、道内外のアーティストが活動したいと思える環境づくりの一助となり、その結果、道内各地に壁画が増え、北海道の文化資源・観光資源となればいいなと思っています。将来的に、にぎわいを生み出す手段としての壁画を浸透させ、道内各地に壁画を増やし、道内全体に人が流れる仕組みを作れたらと思っています。



森職員 都心部では大規模再開発が進む一方で、無機質な仮囲いにより、街の魅力やにぎわいが失われていることが課題でした。そんな中、JAPAN AX PROJECT(株)さんから、市所有の仮囲いを活用した壁画アートの提案を受けました。全長約100mの壁一面に壁画を描くという、アートで都心に新たな魅力を生み出す画期的なアイデアで、お話を聞いた時は驚きましたが、絶対を実現させたいと思いました。市では仮囲いの使用の許可や屋外広告物に関する調整、広報活動に関する支援などを行いました。壁画が札幌に来る方の目的の一つになればうれしいですし、市民の方にもぜひ見ていただきたいです。

SNSで話題! 旧エスタの壁面に「文字」が出現

令和5年8月に閉館し、解体工事が進められている旧エスタの西側壁面に「THANK YOU」、東側壁面に「Welcome SAPPORO」の文字が出現しています。これは、JR北海道からの提案を受け、解体工事に使う防音パネル・採光パネルの配置を工夫することで実現したものです。圧迫感のある景観を和らげ、見た方に前向きな印象を与えるこの取り組みは、これまでエスタを利用いただいた方たちへの感謝の気持ちと、街への来訪者を歓迎する気持ちが込められています。市では、この取り組みを実現するため、屋外広告物に関する調整などを行いました。



定山溪温泉街に 日帰り客向けの駐車場を整備



背景

定山溪温泉街で無料提供されていたスポーツ公園公共駐車場は、舗装や駐車区画の未整備により、敷地面積に見合った十分な駐車台数を確保できていませんでした。このため、特に日帰り客にとって利用しにくい状況が生じ、混雑や不便さが課題となっていました。

新たな取り組み

タイムズ24(株)から提案を受け、砂利敷きで駐車スペースの区分けがなかったスポーツ公園公共駐車場に、舗装や駐車区画の整備を行い、案内サインや精算機などを設置しました。整備後の駐車場は、「タイムズ定山溪観光駐車場」として昨年9月にオープン。利用者が支払った駐車料金※を駐車場の適正な維持管理に充てることができるほか、利便性や快適性の向上を図っています。

※駐車後24時間ごとに500円/台。キャッシュレス専用

詳細 観光・MICE推進課 ☎211-2376

対象の店舗は
こちらから▶



新たな取り組み

バス到着までの待ち時間をより快適に過ごしていただくために、(株)セコマ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ローソンの協力の下、バス停留所付近のコンビニエンスストアを待合所として利用できる取り組みを開始しました。本取り組みは、バスの停留所付近の市内計22カ所(令和7年12月1日現在)のコンビニエンスストアで行っています。

詳細 都市交通課 ☎211-2492

身近な 連携事例を ご紹介!

行政と企業が一緒に取り組み、
暮らしを豊かにする
身近な事例を紹介します。

地下鉄乗車時に クレジットカードなどの タッチ決済ができるように



背景

主に海外から訪れた方は交通系ICカードを持っていないことも多く、目的の駅にスムーズに移動できないことがありました。

新たな取り組み

三井住友カード(株)から提案を受け、昨年4月から市営地下鉄全駅でクレジットカードなどのタッチ決済で乗車できるようになりました。利用方法は、専用の読み取り機が付いた自動改札機に、下記の対象のカードなどをかざすだけです。

対象のカードなど

タッチ決済機能(リップルマーク)付きのクレジットカード・デビットカード・プリペイドカードか、これらのカードが設定されたスマートフォン

〈対応ブランド〉

Visa、Mastercard[®]、JCB、アメリカン・エキスプレス、ダイナース
クラブ、ディスカバー、銀聯

詳細 交通局営業課 ☎896-2706

空き家の解体費用と 土地売却査定価格の概算額を 確認できるように

背景

市では「札幌市空き家対策計画」に基づき空き家対策を進めていますが、毎年、適切に管理されていない空き家に関する通報や相談が多数寄せられているのが現状です。特に所有者からは、「処分にかかる費用が分からない」「解体業者を知らない」など、空き家の処分に関する相談が寄せられ、処分や管理への具体的な行動ができていないケースが多いことが課題です。

新たな取り組み

所有者が空き家の処分を考えるきっかけづくりとして、(株)クラッソーネから、「札幌市版すまいの終活ナビ」の活用を提案されました。土地・建物の面積、最寄り駅、接する道の幅などの条件をスマホなどから入力するだけで、解体費用と土地売却査定価格の概算額を、無

料で手軽に把握できるようになりました。

詳細 監察担当課 ☎211-2808



詳細



百合が原公園に複合施設 「LiLiLi」を開設



背景

25.3haという広大な敷地を持ち、約6,400種類の花や植物が見られる百合が原公園。開園から40年以上たった今も多く多くの市民に愛される一方、これまで利用者からは飲食施設を求める声が多かったほか、駐車場不足などの課題を抱えていました。

新たな取り組み

パーク Park-PFI※という制度を活用し、(株)ユリガハラパークフューチャーラボ YURIGAHARA PARK FUTURE LABと連携。複合施設「LiLiLi」が昨年10月にオープンしました。主力メニューのフォカッチャサンドやスペシャルティコーヒーなどを提供するカフェに、子どもたちの学びを支援する空間を併設。また、駐車場69台分を増設したほか、芝生広場やベンチなどを整備しました。

※民間事業者のノウハウを活用し、飲食店やイベントなどで得られる収益の一部を公園の整備・管理費に充てることで、行政の負担を軽減し、より魅力的な公園づくりを目指す制度

詳細 みどりの推進課 ☎211-2533

「官」と「民」を結ぶ連携のワンストップ窓口

SAPPORO CO-CREATION GATE

企業から地域課題の解決に向けた市との連携に関する相談や提案を受け付けるワンストップ窓口を、専用ポータルサイト上に設置しています。企業は、市が示した課題に対して提案することや、テーマを問わずに地域課題の解決につながる提案をすることができます。また、官民連携について、さまざまな事例を集約・発信するほか、企業と市の各部署の双方の仲介や情報提供なども行っています。

詳細



コンビニをバス待合所として 利用できるように

背景

市では、公共交通機関の経路検索や運行時刻、バス接近情報が確認できる「さっぽろえきバスナビ」を提供するなど、路線バスを利用する際の利便性の向上を図っています。



パートナーと共に創る、街の未来

札幌の街をより良くしたり、生活を豊かにするために、市と協定を結び一緒に活動している企業があります。

ここでは、企業とその取り組みについて紹介します。

詳細 公民・広域連携推進室 ☎211-2281

車がなくても買い物やすく

市では、運転免許証を自主返納した65歳以上の方が、協力店でさまざまな特典を受けられる制度を設けています。コープさっぽろでは、通常200円かかる買い物の荷物の配送料を、専用コンテナ2個まで無料で配送しています(別途申請が必要です)。



詳細



店舗で休んで熱中症対策

市では、熱中症防止のため、冷房設備のある施設を「クーリングシェルター」として指定しています。コープさっぽろでも店舗を開放しており、市民の皆さんに気軽にご利用いただけます。



生活協同組合コープさっぽろ

食品や生活用品の販売のほか、家庭への宅配サービスを行っているコープさっぽろ。その資源や経験を生かして札幌のまちづくりに役立てるため、市と「まちづくりパートナー協定」を結び、さまざまな取り組みをしています。

円山動物園に果物を寄付

コープさっぽろに果物を卸しているANAフーズ(株)とスノウプル札幌(株)と協力し、規格外の果物などを動物たちの餌として園に寄付。園では餌代の負担が減るほか、コープさっぽろにとっては販売できない果物のフードロス削減にもなっています。



コープさっぽろは「北海道で生きることを誇りと喜びにする」を理念にしています。市民の皆さんのために、札幌をより快適に暮らせる街にしていきたいという思いは市と同じです。これからも市と手を取り合いながら、地域の課題解決に向けて、地域に密着したサービスを行っている私たちだからこそできることに積極的に取り組んでいきたいです。



生活協同組合
コープさっぽろ
広報部
もり森さん

青少年山の家で例年開催している「あそびばざ〜る」で、スノーシュー・ハイクのワークショップを実施。雪上での遊びを教えたり、ウェアのレンタルを実施したりと、自然の中で遊ぶ機会の少ない子どもたちが楽しむことができるようにサポートしました。また、大人から子どもまで札幌の自然に関心が持てるようなイベントも多数行っています。

市の山岳救助隊の活動用ウェアもサポート! 山岳救助隊はコロンビアのアウトドア教室で安全啓発を行うなど、協力し合っています



(株)コロンビアスポーツウェアジャパン

アウトドアに関する深い知見を持つコロンビア。札幌の自然を活用しながら、アウトドア活動や地域活動を促進するために、市と「持続可能な世界都市さっぽろの実現を目指す包括連携協定」を結びました。市の魅力向上のためにさまざまな取り組みを行っています。



もっと暮らしを豊かに！ 新たに始まる取り組み

地域課題を解決し、より豊かな生活を実現するために、
市と企業が連携して新たな取り組みを行います。

傾聴AIによるお悩み相談



背景

市ではさまざまな相談窓口を設けていますが、電話や対面の窓口では素直に悩みを相談しにくく、人に話すことに抵抗があるという方もいます。また、時間帯によっては混み合ってしまうほか、24時間の相談対応が難しいという課題もあります。

新たな取り組み

(株)ZIAI^{ジアイ}からAI技術を活用した相談窓口について提案されました。傾聴AIによるチャット相談窓口で、24時間365日、いつでも気兼ねなく悩みを相談することができます。3月から実証事業によるサービスを開始する予定です。

詳細 保健福祉局総務課 ☎211-2647

市では、地域の課題を解決し、市民の皆さんの暮らしがより豊かで便利になるように、今後も官民連携の取り組みを進めていきます。

自動除雪ロボット

背景

人口減少を背景とした将来的な人手不足が予測される中、持続可能な街を実現していくためには先端技術の活用が必要不可欠です。



新たな取り組み

(株)DFA Robotics^{ロボティクス}とロボット技術を活用した地域課題の解決に向けた連携協定を締結しました。第一弾の取り組みとして、市民の皆さんの関心が高い除雪分野におけるロボットの活用に向けて、市役所や土木センターの敷地で1月から実証実験を行っています。

詳細 未来創生担当課 ☎211-2338

スキー場でのタクシーのシェア乗り



背景

スキー場によってはタクシー配車アプリの範囲外であったり、市内中心部から直接アクセスできる交通手段が限られており、利便性に課題があります。

新たな取り組み

(株)NearMe^{ニアミー}から、スキー場を利用する方が快適に移動できるサービスについて提案されました。スキー場と市街地の間をタクシーに乗って行き来したい人同士が、事前にアプリで予約をして相乗りする「シェア乗り」の実証実験を、札幌ハイヤー協会の協力を得て市内の対象のスキー場で行っています。

対象 国際スキー場、テイネスキー場、ばんけいスキー場、藻岩山スキー場、滝野スノーワールド、フッズスノーエリア

詳細 観光地域づくり担当課 ☎211-2376

詳細



マ イ ス MICEで街と暮らしをより豊かに

国際会議や学会など、道外から多くの人が集まり交流が生まれるMICE。

市では、2033年度に新しいMICE施設の利用開始を目指しています。

ここでは、市の観光消費の視点から見たMICEの重要性と既存MICE施設の現状のほか、新施設ができた後の未来について伝えます。

詳細 観光・MICE推進課 ☎211-2376

札幌の街を支える観光消費

2024年度に観光客が市内で使った金額は、前年度より4割以上増え、6,941億円となりました。これは、市の2024年度の当初予算の半分以上を超える規模で、札幌にとって観光は街を支える大きな力となっています。

2024年度総観光消費額

6,941億円

市の2024年度
一般会計の当初予算
(1兆2,417億円)
の半分以上を超える
規模!

特に、外国人宿泊者数や1人の外国人が観光のために使う金額は年々上昇傾向で、外国人旅行者全体の消費額が拡大しています。



また、国際会議などのMICE（詳細は下段）の参加者は、一般の旅行者に比べて消費額が高いのが特徴です。参加者によるホテルや飲食店などでの消費に加え、主催者による会場費や設営費の支出もあるため、MICEは市の経済全体を大きく潤します。

例えば、外国から来るMICE参加者と旅行者の1人当たりの平均消費額を比べると…

外国から来る
MICE参加者

約67.8万円

外国から来る
旅行者

約22.7万円

旅行者の
約3倍!

参考：観光庁「MICEの誘致・開催の促進」

MICEとは？

たくさんの方がビジネスや国際交流の目的で街に集まるイベントや会議のことです。Meeting(企業の会議)、Incentive Travel(企業の報奨旅行^{*})、Convention(国際会議・学会)、Exhibition/Event(展示会・イベント)のそれぞれの英単語の頭文字を取って、MICEと呼びます。

^{*}優秀な成績を収めた社員やチームをねぎらうために与える旅行

M

Meeting

(企業の会議)



I

Incentive Travel

(企業の報奨旅行)



C

Convention

(国際会議・学会)



E

Exhibition/Event

(展示会・イベント)



市の既存MICE施設の現状

予約でいっぱい

札幌コンベンションセンターでは、大ホールの稼働率が8割を超え、予約が取りづらい状況が続いています。2024年度には365件もの申し込みをお断りしました。

大規模な会議に対応できない

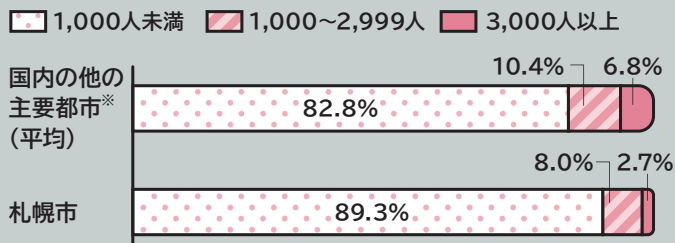
会場が小さく、会議室も不足しており、大規模会議を断念せざるを得ない状況です。国内の他の主要都市と比べると、3,000人以上が参加する大規模な国際会議の開催割合は半分以下にとどまっています。

周辺の機能が不足

札幌コンベンションセンターは、駅から離れていることや、周辺にホテルや飲食店が少ないことなど、MICE参加者の需要を満たせていません。

市内では札幌コンベンションセンターをはじめさまざまな施設でMICEが開催されており、2024年は443件の国際会議・学会が開催されました。MICEの開催は市に恩恵をもたらしますが、会場となる施設は課題を抱えています。

国際会議の規模別開催割合



*仙台市、東京都、千葉市、横浜市、名古屋市、大阪市、神戸市、京都市、広島市、福岡市、北九州市
参考:札幌市「新MICE施設整備基本方針」

大規模な国際会議の開催割合が、他の主要都市の半分以下!

都市としての魅力は高い札幌ですが、**施設の機能不足により需要を大きく取りこぼしています。**

新しいMICE施設を造ります

課題解決のため、豊かな自然と都市機能を兼ね備えた中島公園駅周辺に新施設を造り、2033年度の利用開始を目指します。

大規模な国際会議が開催できる

メインホールと多目的ホールを備え、施設単独で3,000~5,000人規模の会議に対応。これまで難しかった大規模なMICEを受け入れ可能に。

ホテルとの連携

施設の隣にはホテルを建設予定。この隣接するホテルや周辺の宿泊施設の会議室などと連携すると、5,000人を超えるさらに大規模なMICEも開催可能に。

優れた交通アクセスと周辺環境

地下鉄南北線中島公園駅と直結。自然が豊かな中島公園、利便性が高くにぎわいのあるすすきの・大通エリアに近く、札幌の魅力を存分に生かした立地に。



豊水地区連合町内会 会長 高柳さん

新施設は、サークル活動など世代を超えた交流の場としての利用はもちろん、災害時には避難所としても活用できれば心強いです。繁華街に近く、観光やビジネスで多くの方が来る地域なので、災害発生時に行き場を失う帰宅困難者の一時滞在施設としての機能も期待しています。

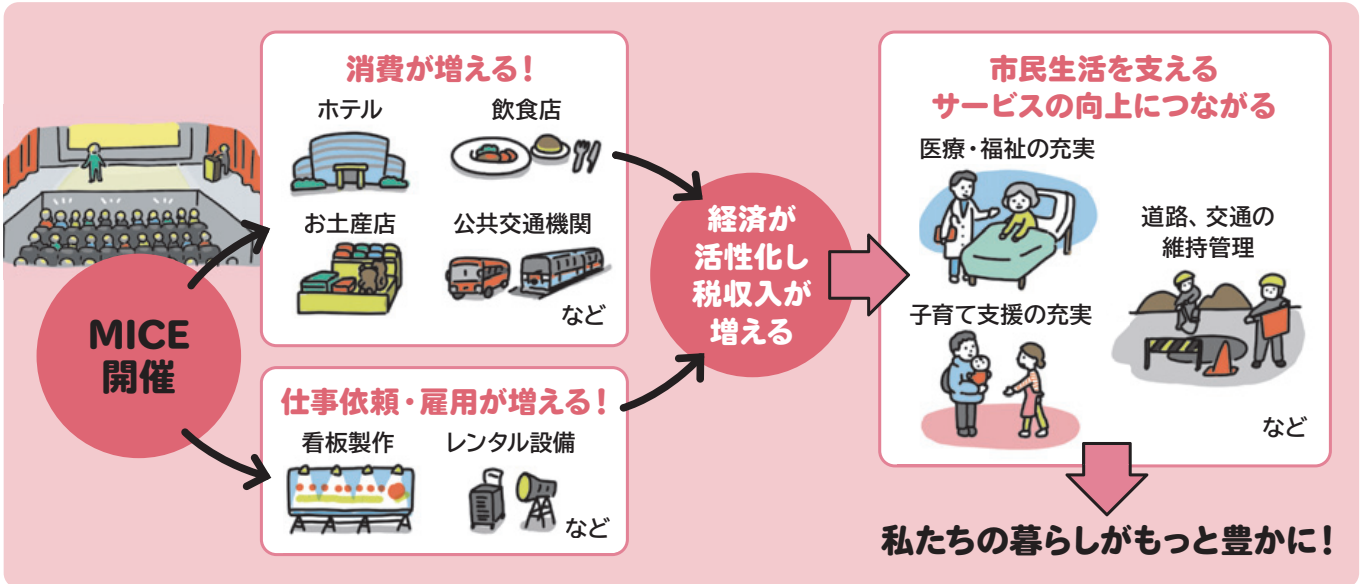
※写真はイメージ





○ 新しいMICE施設を造ると

新施設ができると、年間約1,200件のMICEが開催される見込みです。MICEの運営に関わる消費や、参加者による宿泊・飲食などの観光に関わる消費が増え、1年で約492億円の経済波及効果が期待でき、約3,200人の新たな雇用を生み出すことができます。また、MICEは季節や曜日にかかわらず開催されるため、春や秋などの閑散期や平日にも安定した消費が期待できます。



MICEの開催が増えるとこんないいことも

○「札幌」の名前や魅力が世界に広がる

都市ブランドの向上につながります。名前が広がることは、私たち市民の誇りにもなります。

○産業や学術の発展

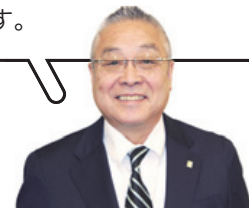
札幌の企業や技術者が世界へ技術を発信する機会が増えます。また、海外の研究者との交流が増え、新たな取引や共同研究が生まれます。

○市民の方に「世界」との接点ができる

過去には、市内の高校生が研究成果について専門家と意見を交わしたことも。市民の方が世界の人々と触れ合う機会が増えます。

すすきの観光協会 会長 大島さん

新施設から徒歩圏内にあるすすきには、MICE開催に合わせて世界中から多くのお客様が訪れるはず。北海道が誇る「食」を楽しんで、また来たいと思っていただきたいですね。この施設が、街に新たな人の流れを生み出す原動力となることを期待しています。



もっとMICEを知ろう

MICEを紹介する2つのホームページを見て、さらに理解を深めませんか。

札幌コンベンションビューロー
ホームページ



市ホームページ



パネル展に行きませんか

MICEの開催や新施設整備が街にもたらす恩恵について、もっと詳しく知ることができるパネル展を行います。会場ではアンケートを実施し、皆さんからのご意見をお聞きします。

日時	2/21(土)、22(日) 11~17時	3/7(土)、8(日) 11~17時	3/18(水)、19(木)13~19時、 20(祝)11~17時
会場	イオンモール札幌平岡 (清田区平岡3の5)	JR手稲駅 (手稲区手稲本町1の4)	駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) 憩いの空間

申込 当日直接会場へ 詳細 観光・MICE推進課 ☎211-2376



第二マイナンバーカードセンターを開設

平日の夜間や土・日曜も開所します

ホームページ



NEWS

01

マイナンバーカードの保有率が伸びた令和2～5年度に取得した電子証明書の更新手続きが増加しています。今後、カード本体の更新も増加する見込みであることから、2カ所目のマイナンバーカードセンターを2/24(火)に開設します。

予約・詳細
専用コールセンター
☎600-2323

●第二マイナンバーカードセンターの概要

開設日 2/24(火)(予約受け付け中)
開所日時 月～水曜12～20時、土・日曜10～18時。
木・金曜、祝日、第3土曜の翌日曜は休所日
住所 中央区北2東4 サッポロファクトリー2条館内
※サッポロファクトリー内に共用駐車場あり(3時間無料)
可能な手続き 電子証明書の更新や、マイナンバーカードの受け取り・申請・変更手続きなど。カードの受け取りは完全予約制、その他の手続きは予約なしでも手続き可能
予約方法 ホームページからか、専用コールセンターへ☎

第一マイナンバーカードセンターは
こちら！

開所日時 水～金曜12～20時、
土・日曜9～17時。
月・火曜、祝日、第3土曜の
翌日曜は休所日
住所 中央区北3西3 札幌小暮ビル内



札幌駅周辺における交通規制のお知らせ

再開発や地下鉄南北線さっぽろ駅の工事による、
長期の通行止めを予定しています。迂回へのご協力をお願いします

ホームページ



NEWS

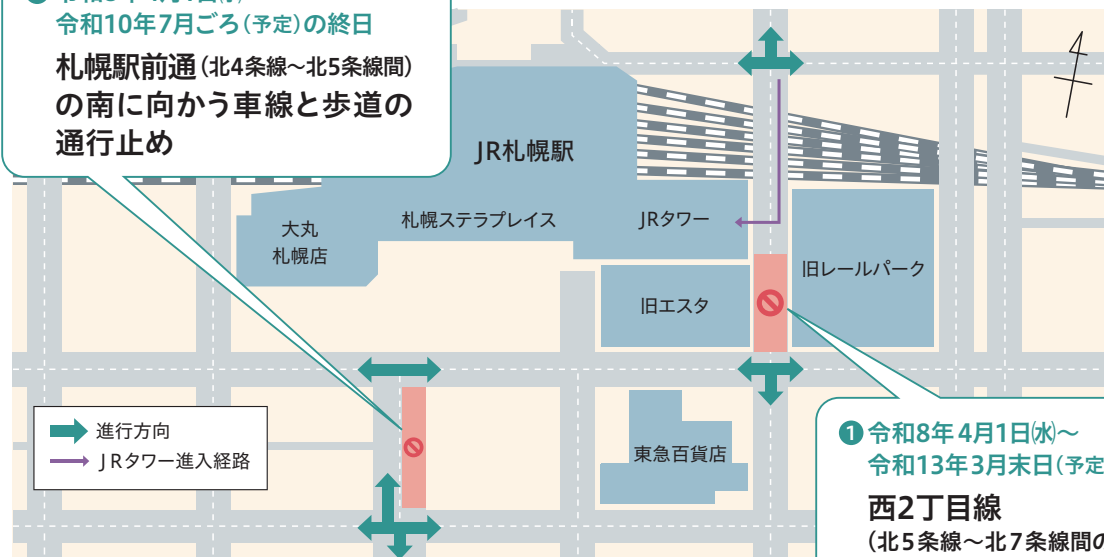
02

北5西1・西2地区の再開発事業(旧エスタおよび旧レールパーク跡地の再開発)、地下鉄南北線さっぽろ駅ホーム増設事業の工事のため、JR札幌駅周辺の車道と歩道の一部で通行止めの交通規制を行います。

※工事の進行や天候などの影響により、規制期間が変更となる可能性があります。詳しくは右上コードからご確認ください。

- 詳細
- ①北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業
【工事に関すること】清水・伊藤・岩田地崎・札建・泰進共同企業体 ☎590-5237
【事業に関すること】北5西1・西2地区市街地再開発組合 ☎522-6951
 - ②地下鉄南北線さっぽろ駅ホーム増設事業
【工事・事業に関すること】札幌市交通局事業調整担当課 ☎896-2794

② 令和8年4月1日(水)～
令和10年7月ごろ(予定)の終日
札幌駅前通(北4条線～北5条線間)
の南に向かう車線と歩道の
通行止め



① 令和8年4月1日(水)～
令和13年3月末日(予定)の終日
西2丁目線
(北5条線～北7条線間の一部)
の車道のみ通行止め

路線バス運転手確保の取り組み、ヒグマ対策

さだもり ひかる
定森 光

民主市民連合



問 運転手を確保する取り組みは、一定の成果を上げていますが、減便や廃止は続いています。継続的な取り組みと多様な人材が活躍できる環境づくりが求められますが、現在の取り組みを今後どのように進めますか。

市の答 新たな取り組みにより新規採用に改善の兆しが見られますが、減少傾向は続く見込みです。取り組みの効果を定期的に検証し、必要な施策を検討していきます。

問 2025年のヒグマ出没件数は過去最多となり、現在の基本計画では想定外の事態です。こうした想定外の出没増加に備えた対応のほか、体制の在り方の補強や改善など、基本計画の見直しが必要だと考えますが、いかがですか。

市の答 想定外の事態に備えて、今後は出没状況の深刻さなど段階に応じた応援態勢を構築します。また、基本計画の見直しは、国や北海道の動きも注視しながら、ヒグマの侵入抑制策の強化や個体数管理の導入など、有識者の意見を踏まえて検討を進めます。



バスネットワーク維持に向けた関係者との連携強化、もみじ台地域のまちづくり

まるやま ひでき
丸山 秀樹

公明党



問 厚別区では、バス路線の廃止に伴い、地域・事業者・市が連携して循環バスを運行しています。こうした連携は、バス路線維持の施策に生かせるため、これまで以上に支援して連携を強化すべきですが、いかがですか。

市の答 バス路線の維持に向けた3者の連携は重要であり、引き続き、循環バスを支援していく考えです。こうした事例を参考に、今後も関係者間の連携を強化し、必要な取り組みを進めたいと考えています。



問 もみじ台地域の再整備は、市営住宅の建て替えを伴うため、住宅・商業・公共機能の一体的な整備に加えて、負担の小さい移転や自治会活動の継続などソフト面の対応も必要です。そのため、部局横断的な調整と官民連携の推進体制が不可欠ですが、今後どのように進めますか。

市の答 多くの世代が住み続けられる街へ再生を図るため、ハード面だけでなくソフト面の施策も含めて庁内一丸となって推進します。また、民間の知見を最大限に活用するため、官民連携の体制でまちづくりを進めます。

市議会 の動き

11月26日に招集された第4回定例会の中から、12月2日、3日の代表質問の主な内容や、可決した議案などについてお知らせします。

議会映像のインターネット配信

本会議や特別委員会の模様は、インターネットで生配信しているほか、会議終了からおおむね5日後には録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。



ていねプールの魅力向上、手稲区への地下鉄延伸

わだ かつや
和田 勝也

自由民主党



問 老朽化が進むていねプールは、年少人口の減少を理由に縮小や廃止を選ぶのではなく、民間の知見を生かして魅力を高め、幅広い世代が訪れる施設とすべきです。本年度、民間事業者に実施した、プールを含む稲積公園の魅力向上に向けた調査では、どのような提案や意見があり、それらを踏まえてどのように検討を進めますか。

市の答 民間事業者からは、プールを含めた公園施設の通年利用、宿泊や飲食など収益施設の設置をはじめ、さまざまな提案や意見がありました。今後も民間事業者との対話を継続しながら、調査で得られた提案や意見を踏まえて方向性の検討を進めます。



問 地下鉄延伸は区民の悲願ですが、多数の署名などを添えて要望しても、採算性の検証に至っていません。本市は現在、人の移動や活動を把握する調査を行っており、このデータを用いて検証すべきだと考えますが、検証を行わない理由と延伸に必要な具体的な条件を伺います。

市の答 2018年度の需要推計で、市内全域で地下鉄の導入が必要となる区間は発生しないとの結果が出たことから、採算性の検証は行っていません。地下鉄延伸は、十分な需要による採算性の確保が条件であるため、公共交通の在り方については、調査結果や人口動態などを踏まえて、全市的な交通体系の中で考えていきます。